

CODE 役員名簿 (2013年3月31日現在)

代表理事	芹田 健太郎	(愛知学院大学教授・神戸大学名誉教授)
副代表理事	水野 雄二	(神戸YMCA 総主事)
副代表理事	室崎 益輝	(関西学院大学教授・神戸大学名誉教授)
理事	黒田 裕子	(阪神高齢者・障害者支援ネットワーク理事長)
理事	野崎 隆一	(神戸まちづくり研究所事務局長)
理事	榛木 恵子	(関西 NGO 協議会顧問)
理事	藤野 一夫	(神戸大学大学院国際文化学研究科教授)
理事	藤野 達也	(元 PHD 協会総主事代行)
理事	松本 誠	(市民まちづくり研究所所長)
理事	村井 雅清	(被災地 NGO 協働センター代表)
理事	村上 忠孝	(村上環境住宅研究所主宰)
理事	山添 令子	(コープこうべ常勤理事)
理事	吉富 志津代	(多言語センターFACIL 代表)
監事	中川 和之	(時事通信社山形支局長)
監事	飛田 雄一	(神戸学生青年センター館長)

CODE へのご協力方法

◆賛助会員になる	機関誌「CODE レター」をお届けします。 年会費 ・個人会員および NGO/NPO 会員 2,000 円 ・企業/団体会員 10,000 円
◆プロジェクトに 寄付する	支援したいプロジェクトを指定して寄付いただけます。 15%を上限として管理費に使わせていただきます。
◆事務局に カンパする	事業を行っていくための事務局運営費として使わせていただきます。
◆CODE・AID を 応援する	人材育成を含めて NGO の今後の担い手を支えるため、事務局を支えるファンドです。詳しくは次ページをご参照ください。

ご希望の用途がある場合は通信欄などにご記入いただくか、事務局までご連絡ください。

郵便振替	銀行振込	クレジットカード
00930-0-330579 名義 CODE	ゆうちょ銀行 〇九九 (ぎ けいけい) 店 店番 099 当座 0330579 CODE	HP から手続きいただけます。 CODE トップページまたは https://mp.canpan.info/code/

CODE10周年を契機に、「CODE・AID」をスタートします

CODE・AID へのご支援をよろしく申し上げます！！

2013年2月2日

CODE 海外災害援助市民センター 代表理事 芹田健太郎

1995年、阪神・淡路大震災で世界の70余カ国から支援を受けました。以後、「困ったときはお互い様」の精神で、海外での災害援助を主たる活動としてCODE 海外災害援助市民センターが発足し、2012年度で10年を迎えました。これまでCODEを支えて下さり、また共に歩いて来て下さったみなさまには心からお礼を申し上げます。

CODEは、市民一人ひとりの思いを救援に活かすために、これまで寄付のみで運営してまいりました。その思いとは、被災者に寄り添い、痛みの共有を体感し、援助の届き難い人や地域へ支援を優先すること。そして最後の一人まで救うということです。阪神・淡路大震災から育んできた災害文化として、このような市民の思いを直接反映した救援スタイルを持続可能なものにするために、今後も寄付によってCODEが運営されることが重要です。そこで、CODEを財政・知恵の提供をもって支える仕組み「CODE・AID」を立ち上げます。

CODE・AIDに寄せられた寄付は、CODEを支える事務局の間接経費に使われるとともに、今後は特に先に紹介した救援スタイルに関心を持ち、集まってくる若者に、活動の場、学ぶ場、交流の場を提供し、さらに次なる世代へ継承するための人材育成やスキルアップのための知恵をストックしていくために使われます。そして、CODE・AIDのサポートによって、次世代を担う若者の働く場となることを願っています。

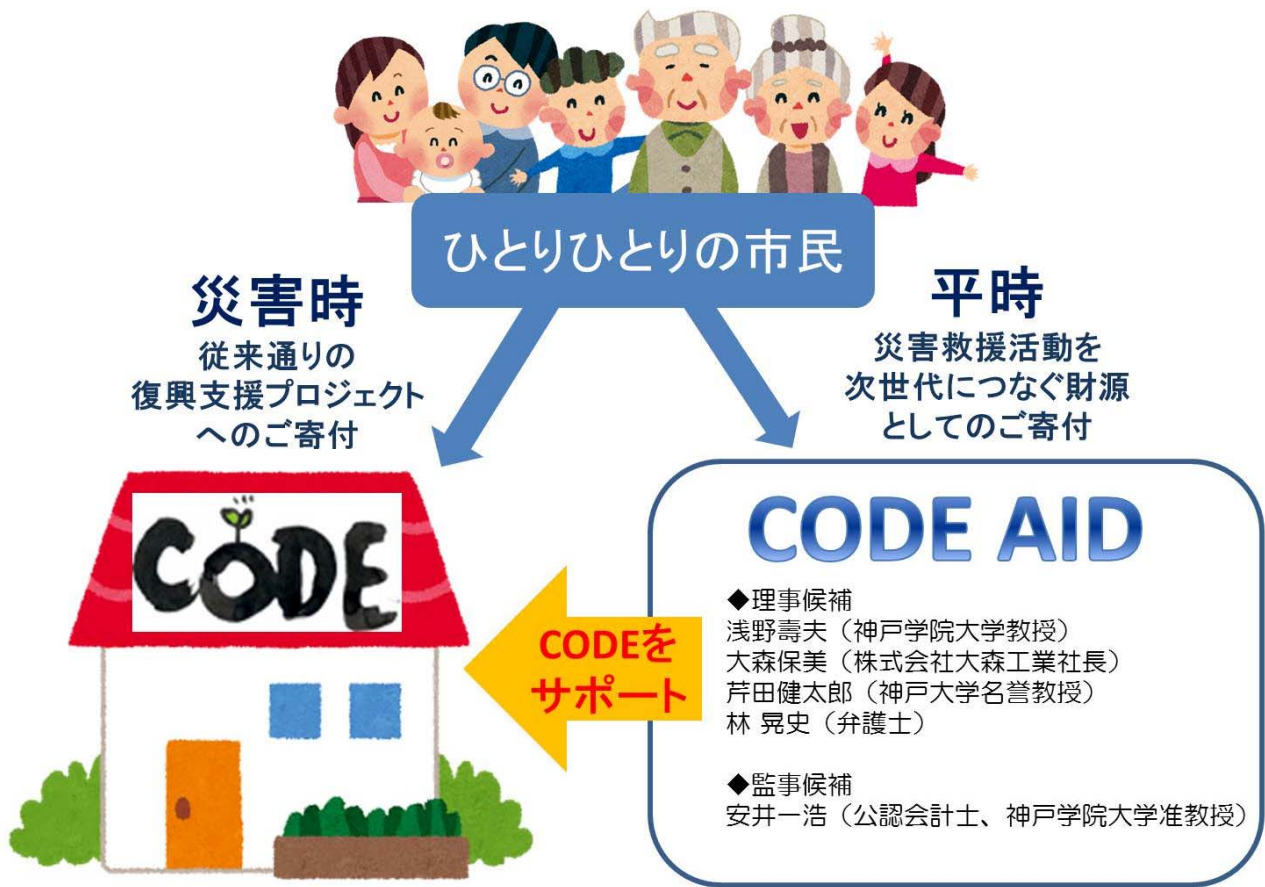
CODEのこれまでの活動によって、「寄り添いからつながりへ」と、被災地から被災地へのリレーとして、新たな交流が生まれつつあることは、「CODE10周年記念シンポジウム」でも確認できたところです。

阪神淡路大震災を契機に生まれた被災地の知恵とネットワークを、次世代を担う若者がさらに被災地で学び、また日本へ持ち帰り、災害救援における一つのグッドプラクティスを創りあげたいと考えています。

阪神淡路大震災からの18年を振り返ると、これまでにメキシコ・中国・トルコ・台湾・インド・スリランカ・イラン・インドネシア・アフガニスタン・ハイチなどと確実に顔の見える関係を築いてきました。今後も、こうしたつながりをより有意義なものにするために努力をしてまいります。

CODEには、今CODE・AIDという新しい革袋ができたばかりです。新しい革袋には新酒を入れなければなりません。この新酒は、是非みなさまと創り、醸成させたいと思います。CODE・AIDは、走りながらではありますが、これからみなさまと共に知恵を出し合い、考えながら創り上げたいと思います。どうぞご支援の程よろしくお願い致します。

【CODE・AID イメージ図】



◆これまで CODE が支援した被災地の例



- ▲イラン
（2003年バム地震）
- ・音楽教室
 - ・振動台による耐震住宅のデモンストレーション

- ▼スリランカ
（2004年スマトラ沖地震・津波）
- ・防災「共育」
 - ・幼稚園再建



- ▲インドネシア
（2006年ジャワ島中部地震）
- ・伝統工法による住宅再建
 - ・住民自身の手で水道敷設



CODE10 周年記念シンポジウム「寄り添いからつながりへ」報告書

2013年3月31日発行

編集・発行 特定非営利活動法人 CODE 海外災害援助市民センター

〒652-0801 神戸市兵庫区中道通 2-1-10

TEL: 078-578-7744 FAX: 078-574-0702

E-mail: info@code-jp.org

URL: <http://www.code-jp.org/>